

質問への回答・補足：重複申請可能な種目の組み合わせ

基盤研究B（研究代表者）の主な組合せの例

- 挑戦的研究**（夏公募）開拓, 萌芽
- 学術変革**：学変Aの公募研究（夏公募）は年100~500万円, 激ムズではない
- 海外連携研究**（春公募）

基盤研究C（研究代表者）の主な組合せの例

- 学術変革**：学変Aの公募研究（夏公募）であれば激ムズではない
- 海外連携研究**（春公募）

若手研究（研究代表者）の主な組合せの例

- 挑戦的研究**（夏公募）開拓 ※若手研究のうち2回目のみ
- 学術変革**：学変Aの公募研究（夏公募）であれば激ムズではない

※「研究代表者」と「研究分担者」の組み合わせは大抵の種目でOK

※学術変革A「公募研究」の公募が起こる可能性のある研究領域：

JSPSのページで採択領域リストを確認

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/30_lsrp/index.html

重複応募制限の特例：最終年度の前年度申請について

すでに科研費に採択されている方：最終年度前年度の重複申請が可能
採択されれば重複して研究費を受け取ることができる

※ただし、下記の条件を満たす場合のみ：

基盤研究 研究期間が4年以上 or 若手研究 研究期間が3年以上
& 「継続研究→重複で新規応募」は1研究課題のみ

表：
令和7年度
の公募要領
より抜粋

研究計画最終年度前年度の応募が可能な継続研究課題	新たに応募することができる研究種目
特別推進研究の研究課題うち、研究期間が4年以上の研究課題	基盤研究（S・A・B・C）
基盤研究（S・A・B・C）の研究課題のうち、研究期間が4年以上の研究課題 （応募区分「特設分野研究」を除く。）	特別推進研究、 基盤研究（S・A・B・C）
若手研究の研究課題のうち、研究期間が4年以上の研究課題	基盤研究（S・A・B・C）
若手研究（A・B）の研究課題のうち、研究期間が4年の研究課題	基盤研究（S・A・B・C）
若手研究、若手研究（A・B）の研究課題のうち、研究期間が3年の研究課題	基盤研究（S・A・B）

最終年度の前年度申請の有効活用のススメ

メリット

1 年間の科研費が確保された（落ち着いて研究計画を検討できる）状態で、

- ✿ 1 ランク上の種目に挑戦できる
(ex. 基盤C→B, 若手→基盤)
- ✿ 同じ種目への申請も可
(ex. 基盤C→C, 基盤B→B)

✿ 仮に不採択でも、審査員評価を受けて次年度に改善することが可能

基盤研究（C）（一般）8

4 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項（該当者は必ず記述すること（公募要領参照））

本研究の研究代表者が行っている、令和 7 (2025) 年度が最終年度に当たる継続研究課題の当初研究計画、その研究によって得られた新たな知見等の研究成果を記述するとともに、当該研究の進展を踏まえ、本研究を前年度応募する理由（研究の展開状況、経費の必要性等）を 1 頁以内で記述すること。
該当しない場合は記述欄を削除することなく、空欄のまま提出すること。

研究種目名	課題番号	研究課題名	研究期間 令和 年 度～令和 7 年度

当初研究計画及び研究成果

前年度応募する理由

前年度応募の理由を明記することが必要：
採択&継続中課題の成果と進展をふまえ、研究計画を再構築

重複応募可能な組合せの詳細

※詳細, その他の組み合わせ: 「**重複制限一覧表**」をチェック
表内のマークがないマスは, 重複応募&採択がOK
[https://www.jsps.go.jp/file/storage/
kaken_kiban_2024_g_2307/table_of_restriction.pdf](https://www.jsps.go.jp/file/storage/kaken_kiban_2024_g_2307/table_of_restriction.pdf)

※本説明資料は, 昨年の公募要領にもとづき作成しました。
条件が変更になる可能性もあるので, 今年の公募要領が公開されたら
要チェック

✿ **山梨大学URAにお気軽にご相談ください!**

研究推進・社会連携機構 研究力強化推進センター (URA所属組織)

内線 8762 (甲府C), 2399 (医学C)

メールアドレス ura-tr@yamanashi.ac.jp

ホームページ <https://www.scrs.yamanashi.ac.jp/kenkyo/4096/>

気になるコスパ, タイパ：採択率（JSPS公開, 令和6年度のデータ）

「国際共同研究加速基金」

国際社会における我が国の学術研究の存在感を向上させるための国際共同研究や海外ネットワークの形成を促進

国際先導研究

9.8%

【～5億円、7年（10年まで延長可）】

国際共同研究強化

【～1,200万円、～3年】

海外連携研究

16.3%

【～2,000万円、3～6年】

帰国発展研究

【～5,000万円、～3年】

「若手研究」種目群

若手研究者に独立して研究する機会を与え、研究者としての成長を支援し、「基盤研究」種目群等へ円滑にステップアップするための種目群

「基盤研究」種目群

これまでの蓄積に基づいた学問分野の深化・発展を目指す研究を支援し、学術研究の足場を固めていく種目群

特別推進研究

13.9%

【～5億円、3～5年】

「学術変革研究」種目群

斬新な発想に基づく研究を支援し、学術の体系や方向の変革・転換、新領域の開拓を先導する種目群

基盤研究(S)

11.9%

【5,000万円～2億円、5年】

基盤研究(A)

27.2%

【2,000～5,000万円、3～5年】

基盤研究(B)

28.0%

【500～2,000万円、3～5年】

基盤研究(C)

27.5%

【～500万円、3～5年】

学術変革領域研究(A)

計画研究11.3%

公募研究24.8%

【5,000万円～3億円/年、5年】

学術変革領域研究(B)

計画研究15.4%

【～5,000万円/年、3年】

挑戦的研究(開拓)

10.9%

【500～2,000万円、3～6年】

挑戦的研究(萌芽)

11.8%

【～500万円、2～3年】

※赤字：
夏（7～9月）
公募

特別研究員奨励費

【～450万円、～3年】

研究活動スタート支援

【～300万円、～2年】

若手研究

【～500万円、2～5年】

36.4%

40.1%